

【2017年度保健看護学科の卒業論文の評価基準と手続き】

1. 卒業論文の評価基準と手続き

保健看護学科では、卒業論文の審査にあたっては、「学位授与の方針」を踏まえて、以下の保健看護学科卒業研究アセスメントポリシーおよび表1のルーブリック評価基準と統合演習Ⅰ3年生研究計画書提出時に統合演習Ⅰ評価表（様式9）、4年生卒業論文提出時に卒業研究評価表（様式8）、統合演習Ⅱ評価表（様式10）の評価基準に基づいて総合的に判断する（表1）。

1) 保健看護学科 卒業研究 アセスメントポリシー

卒業研究の評価は、科目目標の項目である研究テーマ・取り組み・論文の作成・倫理的配慮・看護実践へのつながりの観点で5段階評価を行い、評価ツールは、卒業研究のルーブリック評価を使用する。達成すべき質的水準を60点以上とする。

（1）大学レベルの評価は、学生（一部）の卒業研究の評価結果の集計により行う。

（2）学科レベルの評価は、学科別に卒業研究の評価結果の集計により行う。

（3）学生個人レベルの評価は、卒業研究のルーブリック評価等により確認する（表1）。

2) 保健看護学科 卒業研究評価の手続きについて

保健看護学科卒業研究ルーブリック評価基準に基づき、各評価項目について、3年生研究計画書提出時に統合演習Ⅰ評価表（様式9）、4年生卒業論文提出時に卒業研究評価表（様式8）、統合演習Ⅱ評価表（様式10）の評価基準にしたがい、自己評価し、提出する。最終的に主担当教員が評価する。

保健看護学科 卒業研究評価表

学籍番号：

学生氏名：

目標の項目	評価項目	点数配分	自己評価	評価の根拠など学生が記入する	教員評価
研究テーマ	自分の興味のある看護を深められるような研究テーマをみつけることができる	10			
取り組み	卒業研究に積極的な態度で取り組むことができる	20			
	提出物の期限をまもることができる	10			
論文の作成	作成要領に基づいて、規定をまもり、論文を作成できる	20			
	適切なテーマをつけ、研究目的を明確に表現できる	5			
	研究方法と結果を適切に述べることができる	5			
	文献を引用し適切に考察できる	5			
	一貫性がある論文を書くことができる	5			
倫理的配慮	倫理申請の手続きが実際にできる	5			
	研究対象に対して、倫理的配慮ができる	5			
	論文中の倫理的配慮ができる	5			
看護実践へのつながり	研究成果を看護の実践へつなげる考えを論文中に述べるができる	5			
	合 計	100			

評価基準 : 5点満点 (10点満点) <20点満点>の場合

とてもよくできた : 5 (10) <20>

よくできた : 4 (8) <16>

できた : 3 (6) <12>

あまりできなかつた : 2 (4) <8>

ほとんどできなかつた : 1 (2) <4>

※無断欠席した場合は、1回につき-10点

統合演習 I 評価表 (卒業研究 履修者)

学籍番号：

学生氏名：

担当教員：

評価項目	点数 配分	自己 評価	評価の根拠 (学生が記入)	教員 評価
1. 積極的な態度で、主体的に演習に取り組むことができた (※担当教員が指示した時間に無断欠席した場合は、1回につき-10点)	40			
2. 領域における研究の特徴を理解した	10			
3. 研究に対し、自分が関心を持った理由を述べるができる	10			
4. 看護を深められるような研究テーマを見つけることができた	10			
5. 研究テーマに関する文献検討ができた	10			
6. 研究における倫理的配慮について理解し、計画書に表現できた	10			
7. 卒業研究要項に基づき、研究計画書を作成し、提出期限内に提出した	10			
	自己評価点		教員評価点	

評価基準	10点満点	40点満点
とてもよくできた	10	40
よくできた	8	32
できた	6	24
あまりできなかつた	4	16
ほとんどできなかつた	2	8

統合演習 I 評価表 (卒業研究 未履修者)

学籍番号：

学生氏名：

担当教員：

評価項目	点数 配分	自己 評価	評価の根拠 (学生が記入)	教員 評価
1. 積極的な態度で、主体的に演習に取り組むことができた (※担当教員が指示した時間に無断欠席した場合は、1回につき-10点)	50			
2. 領域における研究の特徴を理解した	10			
3. 研究に対し、自分が関心を持った理由を述べるができる	10			
4. 看護を深められるような研究テーマを見つけることができた	10			
5. 研究テーマに関する文献検討ができた	10			
6. 研究における倫理的配慮について理解した	10			
	自己評価点		教員評価点	

評価基準	10点満点	50点満点
とてもよくできた	10	50
よくできた	8	40
できた	6	30
あまりできなかつた	4	20
ほとんどできなかつた	2	10

統合演習Ⅱ 評価表 (卒業研究 履修者)

学籍番号： _____ 学生氏名： _____

担当教員： _____

評価項目	点数 配分	自己 評価	評価の根拠 (学生が記入)	教員 評価
1. 積極的な態度で演習に取り組むことができたか	10			
2. 研究活動によって自分の興味のある看護を深められたか	10			
3. 計画書に基づいてデータ収集と分析ができたか	20			
4. 文献を適切に引用できたか	20			
5. データ収集と分析の過程において倫理的配慮ができたか	20			
6. 演習を計画的に進め、提出期限を守ることができたか	20			
自己評価点			教員評価点	

評価基準	10 点満点	20 点満点
とてもよくできた	10	20
よくできた	8	16
できた	6	12
あまりできなかった	4	8
ほとんどできなかった	2	4

統合演習Ⅱ 評価表 (卒業研究 未履修者)

学籍番号：

学生氏名：

担当教員：

評価項目	点数 配分	自己 評価	評価の根拠 (学生が記入)	教員 評価
1. 積極的な態度で演習に取り組むことができたか	10			
2. 研究活動によって自分の興味のある看護を深められたか	10			
3. 要項に基づいて計画書を作成できたか	20			
4. 文献を適切に引用できたか	20			
5. 倫理的配慮について理解できたか	20			
6. 演習を計画的に進め、提出期限を守ることができたか	20			
自己評価点			教員評価点	

評価基準	10点満点	20点満点
とてもよくできた	10	20
よくできた	8	16
できた	6	12
あまりできなかった	4	8
ほとんどできなかった	2	4

表1. 平成29年度保健看護学科 卒業研究 ルーブリック評価基準

目標の項目	評価項目	配点	自己評価	5 (10点配点の場合、10点) <20点配点の場合20点>	4 (10点配点の場合、8点) <20点配点の場合16点>	3 (10点配点の場合、6点) <20点配点の場合12点>	2 (10点配点の場合、4点) <20点配点の場合8点>	1 (10点配点の場合、2点) <20点配点の場合4点>
研究テーマ	自分の興味のある看護を深められるような研究テーマを見つけることができる	10		自分の興味のある看護を深められるような研究テーマを見つけることができた	自分の興味のある看護について深めるほどではないが研究テーマを見つけることができた	自分の興味のある看護ではないが研究テーマを見つけることができた	自分の興味のある看護ではないが研究テーマをみつけようとする取り組みができた	研究テーマをみつけることに取り組んでいなかった
取り組み	卒業研究に積極的な態度で取り組むことができる	20		卒業研究に常に積極的な態度で取り組むことができた	卒業研究に積極的な態度で取り組むことができた	卒業研究にやや積極的な態度で取り組むことができた	卒業研究に積極的に取り組む態度がややみられなかった	卒業研究に積極的に取り組む態度がみられなかった
	提出物の期限をまもることができる	10		提出物の期限をすべてまもることができた	提出物の期限をほぼまもることができた(まもれなかったのは1回のみ)ができた	提出物の期限をほぼまもることができ(まもれなかったのは2回まで)、事前に連絡ができた	提出物の期限をほぼまもることができたが、事前の連絡がほとんどできなかった	提出物の期限をまもることや事前の連絡がほとんどできなかった
論文の作成	作成要領に基づいて、規定をまもり、論文を作成できる	20		作成要領に基づいて、規定をまもり、論文を作成できた	作成要領に基づいて、規定をまもろうと取り組み、論文を作成できた	作成要領に基づいて、規定をまもり、論文を作成することができた	作成要領に基づいて、規定をまもり、論文を作成するに取り組んでいるが、できていなかった	作成要領に基づいて、規定をまもり、論文を作成するに取り組んでいなかった
	適切なテーマをつけ、研究目的を明確に表現できる	5		適切なテーマをつけ、研究目的を明確に表現できた	テーマをつけ、研究目的を表現できたが、どちらかが適切や明確ではない	適切なテーマをつけ、研究目的を明確に表現するに取り組んでいる	適切なテーマをつけ、研究目的を明確に表現するに取り組んでいるが、できなかった	適切なテーマをつけ、研究目的を明確に表現するに取り組んでいなかった
	研究方法と結果を適切に述べることができる	5		研究方法と結果を適切に述べることができた	研究方法と結果を述べることができたが、どちらかが適切さに欠ける	研究方法と結果を適切に述べることに取り組むことができた	研究方法と結果を適切に述べるに取り組んでいるが、できなかった	研究方法と結果を適切に述べるに取り組んでいなかった
	文献を引用し適切に考察できる	5		文献を引用し適切に考察できた	文献を引用し考察できた	文献を引用し適切に考察することができた	文献を引用し適切に考察するに取り組んでいるが、できていなかった	文献を引用し適切に考察するに取り組んでいなかった
	一貫性がある論文を書くことができる	5		一貫性がある論文を書くことができた	一貫性に欠ける部分はあるが論文を書くことができた	一貫性がある論文を書くことができた	一貫性がある論文を書くに取り組んでいるが、できなかった	一貫性がある論文を書くに取り組んでいなかった
	倫理的配慮	倫理申請の手続きが実際にできる	5		倫理申請の手続きが実際にできた	倫理申請の手続きが正確さに欠ける部分はあるが、できた	倫理申請の手続きに取り組むことができた	倫理申請の手続きに取り組んでいるが、できなかった
	研究対象に対して、倫理的配慮ができる	5		研究対象に対して、倫理的配慮ができた	研究対象に対して、正確さに欠ける部分はあるが、倫理的配慮ができた	研究対象に対して、倫理的配慮に取り組むことができた	研究対象に対して、倫理的配慮に取り組んでいるが、できなかった	研究対象に対して、倫理的配慮に取り組んでいなかった
	論文中の倫理的配慮ができる	5		論文中の倫理的配慮ができた	論文中の倫理的配慮が正確さに欠ける部分はあるが、できた	論文中の倫理的配慮に取り組むことができた	論文中の倫理的配慮に取り組んでいるが、できなかった	論文中の倫理的配慮に取り組んでいなかった
看護実践へのつながり	研究成果を看護の実践へつなげる考えを論文中に述べるができる	5		研究成果を看護の実践へつなげる考えを論文中に述べるができた	研究成果を看護の実践へつなげる考えを正確さに欠ける部分はあるが、論文中に述べるができた	研究成果を看護の実践へつなげる考えを論文中に述べることに取り組むことができた	研究成果を看護の実践へつなげる考えを論文中に述べるに取り組んでいるが、できなかった	研究成果を看護の実践へつなげる考えを論文中に述べるに取り組んでいなかった
	計	100		※無断欠席した場合は、1回につき-10点				